

今治市の「ペット防災」について

あなたの家族の一員であるペット。災害時に大切なペットをどうやって守るのか？「ペット防災」について考えてみましょう。

ペット防災で
大事なことは？

どこに避難したらいいの？

平时に準備して
おくことは？



ペット防災で最も大事なことは、

飼い主である「あなた自身の命」を守ることです。まず、あなたが無事でいなければ、ペットの世話をすることはできません。

災害はいつ起こるかわかりません。ましてやあなたが自宅に居る時に被災するとは限りません。

第一に自分の命を守るため、日頃から「防災」について考え、必要な備えをしておきましょう。



日頃から準備しておくこと

しつけの徹底

トイレの仕方、無駄吠えをしない、ケージに入る訓練 等

※ 犬の場合、「待て」「おいで」は、特に重要

ペットの身元表示（所有者明示）

首輪に迷子札や鑑札を付けたり、マイクロチップを埋め込む 等

健康管理

各種ワクチン接種、寄生虫駆除、健康診断、不妊・去勢手術 等

その他の準備

ペット用備蓄（ペットフード、シーツやオムツ、薬、ハーネス、首輪、リード、ケージ、猫砂 等）、信頼できるペット友を作っておく 等

避難について考えておく

まず、自宅はどのようなハザード（危険性）があるのか、確認しておきましょう。

災害と言っても、土砂災害、河川氾濫、地震等、その種別によって、取るべき行動は違ってきます。

自宅に危険が迫った時に、どのような行動を取るのか考えておきましょう。

避難する時にペットは？

- 同行避難をする
ペットホテル、安全な親類や知人宅、指定避難所 等
- 同行避難できない場合
ペットは自宅に置き、避難先から世話に通う。

指定避難所に「同行避難」する場合

指定避難所は「人」が最優先です。

避難所に来られる方の中にはペットアレルギー等の方もおられ、場合によっては命にかかわることもあります。

今治市では指定避難所に同行避難した場合、ペットは避難所内に入ることはできません。基本的には屋外に繋いでおくか車中泊ということになります。

※ 岡山理科大学今治キャンパス(体育館)においては、人とは別室にペットスペースを設けます。但し、ペットをケージに入れる必要があります。

いずれにしても、
他の避難者への配慮をしながら、責任をもって世話をしてください。



※ 全国的な過去の災害では、犬の鳴き声や臭い、ノミの発生等、ペットに関する苦情やトラブルも多くみられます。日頃から「ペット防災」について考え、大切なペットがトラブルのもとにならないよう対策をあげましょう。